

高知大学医学部医学科同窓会会報

やまもも

高知大学医学部医学科同窓会
会長 廣瀬 大祐
〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮
TEL:088(866)0034
FAX:088(866)0065
dosokaij@kochi-u.ac.jp
<http://www.kochi-ms.jp>

第34号

2022年 同窓会総会のご案内

新型コロナウイルスによるパンデミックの収束が未だ見えないなか、医療現場で日々診療に奮闘されている皆様方は大変なご苦勞をされていることと存じます。

高知大学医学部医学科同窓会総会は、昨年度、一昨年度と懇親会及び講演会は中止となりましたが、本年度は、下記のとおり懇親会を開催いたします。

なお、講演会は感染状況を考慮し開催はいたしません。

また、ホテルでの開催が困難な事態となった場合は、オンラインのみでの開催といたしますので、ご了承の程よろしくお願いいたします。

ご出欠のお返事は掲載しております資料により、FAX またはメールにて7月25日(月)までに高知大学医学部同窓会事務局宛にご連絡をお願いいたします。

同窓会事務局:FAX : 088-866-0065 メール : dosokaij@kochi-u.ac.jp

記

○開催日時 : 2022年8月6日(土)

総会 : 午後6時～

(懇親会は開催いたしますが講演会は中止)

○開催場所 : ホテル日航高知旭ロイヤル

高知市九反田 9-15 Tel088-885-5111

《会長挨拶》

高知大学医学部医学科同窓会

会長 廣瀬 大祐 平成元年（第6期卒）

今春、同窓会は109人の新会員をお迎えし、会員総数は約3,800人が医療人として活躍しております。

「近森」「医療センター」「国立」などは、近森病院・高知医療センター・国立病院機構高知病院などを単純に短くした名称ですが、「日赤」は高知赤十字病院の略称でバス停も高知日赤となっています。

高知大学医学部附属病院の略称は「医大」ですしバス停も医大病院となっています。

高知医科大学の略称がいまだに定着しているのは高知医科大学の卒業生としては嬉しいような複雑な気持ちです。

高知医科大学は1984年に1期生を送り出し、2003年10月に高知大学と統合されました。高知医科大学と高知大学医学部の卒業生の数はそろそろ逆転する時期を迎えています。

高知大学は、2024年11月に創立75周年を迎えます。これに先駆け、2022年は旧制高知高等学校創立百周年、2023年は高知大学と高知医科大学の統合20周年と記念の節目が続きます。そのため2022年5月から2024年11月までをアニバーサリー期間と位置づけ、そのスタートを飾るキックオフイベントが5月14日に開催されました。

今まではコロナ禍で色々なことが進まずにきましたが、「医大」がいつまでも残り、地域の人々から親しみを込めて言ってもらえるような存在であり続けるための20周年になるよう、これからの1年間スピード感を持って医学部の方々と進めていきたいと思っております。

皆様のご協力もよろしくお願いいたします。

令和4年同窓会ゴルフコンペにつきまして

同窓会の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。3年ぶりの開催を楽しみにされている皆様もおいでしているかと思っておりますので、なんとか開催を目指していましたが、ゴールデンウィーク明けの時点で新型コロナウイルスの再流行が起きていたことから8月の総会時期に合わせたゴルフコンペは見合わせることに致しました。屋外でのマスク緩和や、海外からの旅行者の受け入れなどコロナ対策は刻々と変化していますし、猛暑の時期に世の中がどういう情勢になっているかが不透明で判断に大変迷いました。コロナ禍でもゴルフに関しては比較的寛容な方もおいでしますので、時期をみて開催することを引き続き検討致しますが、ご意見があれば hashidamynk@me.com までお知らせ下さい。

幹事 9期 橋田 正継（町田病院）



高知から世界へ向けて 多様性を備えた医療人育成

高知大学医学部長

降幡 睦夫

本学は 1976 年に高知医科大学として開設され、1978 年に第 1 期生を迎えてから 45 年になります。私は高知医科大学医学科 5 期生として入学し、卒業後は当時の第二病理学講座助手として医学教育・研究及び病理診断業務に携わってきました。入学当時には看護学科はなく、在学生数約 500 名で最上級学年の 5 年生（1 期生）はクリクラ実習に入ったばかり。看護学科棟や病棟も含め現在の建物は後に併設されたものが多く、全体としてはたいそう殺風景なキャンパスで、当然敷地内外のコンビニや、まして携帯、ネットなどあるはずも無く、テレビ局 NHK、RKC とテレビ高知のみ。高知市中心街へも遠く（今の東西幹線道路も無かった）、当初クラブ活動をしていなかった私の様な県外入学生にとって、キャンパス周囲に広がる水田から聞こえるウシガエルの大合唱に続く日没が、一日の終わりでありました。その後 1998 年には看護学科が併設され、2003 年 10 月に高知大学と統合、2004 年 4 月から現在の国立大学法人高知大学医学部となりました。これまで輩出した 4,000 人余の卒業生の中には、高知県の地域医療を支える医師は固より、大学などで医学教育に携わりながら、先進的な医療を生み出して実施する医学教育・研究者、更には世界の様々な地域での健康問題に直面しながら医療活動を担う国際医療人となっております。

医学部では「敬天愛人・真理の探求」の信条に基づく教育姿勢を貫きながら、様々な特色ある学生教育に取り組んでいます。その特色と強みは、多彩な先端医学領域に及ぶ専門性に富む意欲溢れる教職員陣と、高知の地域性に基づく医学教育システムにあります。中でも全国的に注目を浴びている教育プログラムが「先端医療学コース」と「家庭医道場」であります。医学科選択必修科目の「先端医療学コース」では、それぞれの指導教員の下、学生が研究に直接関与して結果発表を行うなど大きな成果を上げており、研究・教育・医療に必要な探究心を備えた研究者の育成に力を注いでいます。高齢化などの医療課題が集積する高知県では、地域医療への取り組みは喫緊の必然事項であり、地域医療教育として開設された「家庭医道場」では、中山間地域に出向き、地域住民や患者さん、そして地域医療に貢献している医療者とも交流することで、地域医療と連携した実践的な習得を行います。このように先端医学と地域医療という双璧を習得する内容にて、全国における先進的な医学教育の魁として、新しい医学教育のあり方を提案しています。国際交流協定を結ぶ海外の大学・研究所との交換留学生の派遣も継続しており、グローバル社会で活躍貢献できる国際的視野を有する医療人、さらには次世代医学・看護学を力強く開拓推進していく人材養成を目指します。

高知は真冬さえ太陽が輝く南国で、一年を通して温暖な気候に恵まれながら、東西に渡り遍く

太平洋を臨む好位置にあり、よさこい節に歌われるように、正に日本列島の南をうける。南風そよぐ室戸岬から前方を望みては、遮るものは何もなく、果てしない空と海が広がるのみです。医学部で学ぶ学生諸君には、地域医療への親和性を兼ね備えた優秀な医療人を目指すと共に、多様な価値観を理解し尊重する自由寛大な創造意欲を養育し、一人一人の限りなき可能性を信頼し躍進させることで、将来的に世界のさまざまな分野で活躍できる人材として、ここ高知から大海原へ漕ぎ出して頂きたい。そして近未来における病気克服と、健康維持へ貢献して頂くことを切に希望致します。

高知大学医学部同窓会におかれましては、どうか在学生への変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。





「厚生労働大臣表彰」を受けて ～ 国際交流から地域貢献へ～

高知大学医学部医療学（医療管理学分野）

教授 小林 道也

この度、「厚生労働大臣表彰」をいただきました。「長年にわたる国民健康保険事業の発展への貢献」というのがその理由だそうです。17年間以上国民健康保険審査に関わってきましたので“長くやってきた”ことに対するご褒美だと思っています。私はこれまで1) 消化器がんの内視鏡外科手術、ロボット支援手術の導入と普及、2) がんの臨床試験、3) 国際交流、4) 高知県のがん行政への協力、5) 地域貢献としての若年者へのがん教育、など多岐にわたる表に見える仕事を行ってきました。今回の表彰は目立たない“裏の仕事”に対して御評価いただきましたので嬉しく思っています。本来は厚生労働省で厚生労働大臣から直接授与される予定でしたがコロナ禍のため県からいただきました。私が高校生の時、当時東大生だった後藤厚生労働大臣と岡山で食事をした思い出があり楽しみにしていましたので残念でした。



2021年10月15日 厚生労働大臣表彰受賞

せっかくの機会ですので、紙面をお借りして1) 学生の国際交流、2) 地域貢献としての若年者へのがん教育についてご紹介いたします。

1. 国際交流

ハワイ大学医学部、台湾大学医学部との学生交流、またブラジルの南マットグロッソ大学やウズベキスタンの国立タシケント歯科大学で現地での手術指導や外科医の受け入れ、JICA 事業による太平洋島嶼国の医療支援などを行ってきました。今回はこのうち学生交流について述べます。

1) ハワイ大学医学部

私が1986年12月から1988年2月にかけてハワイ大学医学部に留学していたこともあり、平成19年に国際連携推進委員長を拝命した際の最重要課題が「ハワイ大学医学部との協定締結」でした。日本の多くの医学部がハワイ大学医学部と協定締結を望みながらなかなか叶わない状況でしたので、以前から家族のお付き合いのあったDr. Ruth Onoに協定締結の仲立ちをしていただきました。彼女はBill Clinton元アメリカ大統領のアドバイザーのお一人でハワイ大学名誉理事、ハワイ最大の医療施設であるQueen's Medical Centerの副理事長もお務めになったハワイの有力者です。2010年に協定締結以降、本学からは毎年5-6名の学生がハワイ大学で、またハワイからは毎年3名が本学で研修をしています。さらに毎年1名が、以前に私が仕事をしていたKuakini Medical Centerでの1か月間の臨床実習に参加しています。高知大学の中でも最も活発な協定校の一つです。また2017年からはHawaii Medical Education Programに参加しています。これはハワイ大学の日本法人がハワイ大学式医学教育と1-2か月間のハワイ大学式臨床実習を提供するプログラムです。本学では毎年40名前後の学生がこれに登録しています。



2010年2月10日 ハワイ大学医学部と協定締結
右から Prof.Kasuya (Vice Dean), Prof.Izutsu, (Senior Vice Dean), Dr.Ruth Ono, Prof.Hegdges (Dean), 筆者



左から Prof.Hedges (Dean), Prof.Maskarinec (国際交流責任者), 筆者



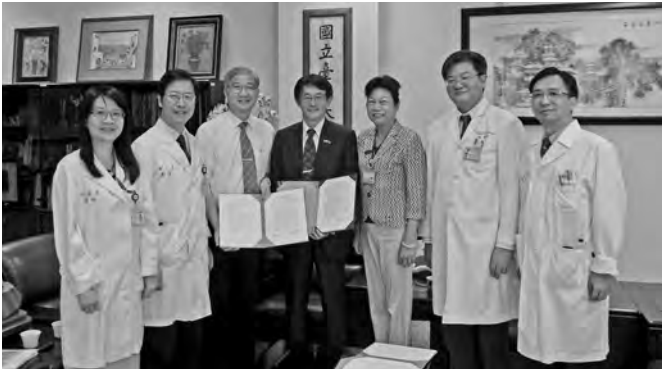
ハワイ大学医学部 パノラマ写真

2) 国立台湾大学医学部

台湾大学は戦前に設立された台北帝国大学を前身とする台湾最高の大学です。私が台湾との民間交流団体の役員を務めている関係で台湾の外交部（外務省）にお願いして協定締結が実現しました。当時、海外交流校がなかった看護学科との交流を開始し、毎年両大学6名ずつが双方向に交流しています。機会あって李登輝元総統、蔡英文総統にお目にかかり、また医師である陳建仁元副総統、頼清徳現副総統にも台湾大学と本学の学生交流についてご説明しました。

国際交流は一方的であってはいけないというのが私の持論です。「欧米には行くが欧米からは来ない、アジアからは来るがアジアへは行かない」のではなく、常に対等の立場で双方向に交流することを基本としています。両大学とも来日時には本学学生と「地域医療」をテーマに英語でプレゼンテーション、ディスカッションを行っています。

コロナ禍でこの2年間十分な交流ができていませんが、両大学との交流は高知大学医学部学生の国際交流の中心だと確信しています。そして両大学とは非常に良好な関係を構築しており、交流が長く続くことを願っています。



2012年5月29日 台湾大学医学部と協定締結
左から3人目 Prof. Yang (Dean)



2014年5月15日 李登輝元総統と会食(於・台北)

2. 若年者に対するがん教育

若年者に対するがん教育は小・中・高校でそれぞれ2020、2021、2022年から行うことが文部科学省の指導要領に書かれています。しかしその認知度は低く学校の先生方もどのようにすべきか悩んでおられました。約10年前から高知県にはがん教育の普及を再三働きかけてきましたが当時は「まだまだ先の話」という印象で県全体の事業としては立ち上がりませんでした。そこでまずは高知大学医学部が独自に始めることとし、2014年3月に初めてののがん教育を追手前高校で行いました。このことは高知新聞、高知放送で大きく報道されました。その後、校長会や研究協議会などで度々講演をし、2018年には高知県がん教育推進協議会が立ち上がり県として若年者へのがん教育が動き始めました。高知大学医学部は積極的に小・中・高校に出かけ、講義数徐々に増え、最近では年間約12の学校で授業をしています。コロナ禍の現在、オンライン授業も行っています。学校とのスケジュールなど準備には事務の方々に多大な労力を割いていただいています。

以上の様に国際交流と地域貢献という一見相反したことを続けてきました。2012年からコロナ禍前の2019年まで毎年ホノルルで日本全国の医療スタッフ（医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、栄養士、言語聴覚士、学生など）を対象としたセミナーを主催しておりこれまで全国16都道府県から計205名の参加者がありました。ハワイ大学医学部の教授やスタッフの講義、ハワイの医療施設の見学を通じて「国際的な視野を持った地域医療に貢献する医療人の育成」「Medical staff contributing to the local medicine with global mind」つまり「Glocal Medical Staffの育成」を目的としています。国際交流や地域貢献もすべてこの言葉に集約されると思っています。これからも国際交流と地域貢献の融合をめざして努力していきたいと思っています。

第116回医師国家試験報告

医学部附属医学教育創造センター

教授 藤田 博一 平成8年(13期)卒

2022年2月に実施された第116回医師国家試験は、高知大学からは123名(既卒生含む)が受験しました。コロナウイルス感染症状況を考慮し、勉強部屋の使用に制限を設けるなかでの準備となりました。また、試験会場も例年とは異なる会場になるなど、受験生には少し負担が大きい中での受験となりました。全国の合格率は、新卒95.0%、既卒54.0%、全体91.7%で本学は、新卒102名(93.6%)、既卒5名(35.7%)、全体107名(87.0%)が合格いたしました。

平素より同窓会よりさまざまな面でご支援いただき、大変感謝しております。また、最近、厚生労働省医道審議会医師分科会の医師国家試験改善検討部会から、今後の医師国家試験改革に向けて報告書が出されました。また、2024年(第118回)の試験から、出題基準が改定されることも発表されています。これによって、より臨床実習で学ぶべき内容が医師国家試験の問題に反映されることが予想されます。また、試験のCBT化など大きな変更が生じる可能性も示唆されています。詳細は、「医師国家試験改善検討部会報告書」で検索していただければ詳細を確認できますので、是非ご覧下さい。しかしながら、どのような試験になろうとも、十分に対応できるよう卒前教育を充実させていきたいと考えています。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第116回医師国家試験出発風景(医学部図書館前ロータリー)

◆医師国家試験合格状況

回数及び 実施年	卒業生	受験者			合格者			合格率			総 順	合 位	国立大学 順
		新卒 名	既卒 名	計 名	新卒 名	既卒 名	計 名	新卒 %	既卒 %	計 %			
第77回(第 昭和59年)	第1期生 97名	97	—	97	97	—	97	100.0	—	100.0	1/76	1/39	
第79回 昭和60年	第2期生 85名	85	—	85	82	—	82	96.5	—	96.5	8/76	5/39	
第80回 昭和61年	第3期生 105名	105	3	108	99	2	101	94.3	66.7	93.5	18/79	14/42	
第81回 昭和62年	第4期生 89名	89	7	96	83	5	88	93.3	71.4	91.7	28/80	22/43	
第82回 昭和63年	第5期生 107名	106	8	114	103	5	108	97.2	62.5	94.7	6/80	4/43	
第83回 平成1年	第6期生 101名	101	7	108	94	7	101	93.1	100.0	93.5	15/80	9/43	
第84回 平成2年	第7期生 91名	91	7	98	87	7	94	95.6	100.0	95.9	4/80	2/43	
第85回 平成3年	第8期生 99名	99	4	103	86	2	88	86.9	50.0	85.4	49/80	35/43	
第86回 平成4年	第9期生 101名	101	15	116	94	10	104	93.1	66.7	89.7	19/80	12/43	
第87回 平成5年	第10期生 101名	100	11	111	92	9	101	92.0	81.8	91.0	44/80	29/43	
第88回 平成6年	第11期生 95名	94	11	105	92	6	98	97.9	54.5	93.3	11/80	8/43	
第89回 平成7年	第12期生 101名	101	8	109	97	4	101	96.0	50.0	92.7	17/80	9/43	
第90回 平成8年	第13期生 82名	82	9	91	80	7	87	97.6	77.8	95.6	17/80	8/43	
第91回 平成9年	第14期生 95名	94	4	98	88	0	88	93.6	0.0	89.8	39/80	22/43	
第92回 平成10年	第15期生 101名	101	10	111	91	5	96	90.1	50.0	86.5	66/80	39/43	
第93回 平成11年	第16期生 97名	97	16	113	85	10	95	87.6	62.5	84.1	52/80	36/43	
第94回 平成12年	第17期生 86名	86	18	104	79	7	86	91.9	38.9	82.7	34/80	23/43	
第95回 平成13年	第18期生 92名	92	18	110	84	13	97	91.3	72.2	88.2	63/80	42/43	
第96回 平成14年	第19期生 97名	97	13	110	93	9	102	95.9	69.2	92.7	33/80	21/43	
第97回 平成15年	第20期生 89名	89	7	96	81	4	85	91.0	57.1	88.5	54/80	31/43	
第98回 平成16年	第21期生 101名	101	11	112	96	6	102	95.0	54.5	91.1	32/80	21/43	
第99回 平成17年	第1期生 98名	98	10	108	92	5	97	93.9	50.0	89.8	45/80	26/43	
第100回 平成18年	第2期生 99名	99	10	109	90	7	97	90.9	70.0	89.0	53/80	30/43	
第101回 平成19年	第3期生 90名	90	12	102	83	5	88	92.2	41.7	86.3	55/80	35/43	
第102回 平成20年	第4期生 88名	88	13	101	81	5	86	92.0	38.5	85.1	71/80	41/43	
第103回 平成21年	第5期生 90名	90	13	103	82	8	90	91.1	61.5	87.4	67/80	40/43	
第104回 平成22年	第6期生 90名	90	14	104	82	8	90	91.1	57.1	86.5	65/80	42/43	
第105回 平成23年	第7期生 97名	96	13	109	89	7	96	92.7	53.8	88.1	55/80	32/43	
第106回 平成24年	第8期生 93名	92	15	107	87	9	96	94.6	60.0	89.7	51/80	25/43	
第107回 平成25年	第9期生 88名	88	12	100	70	6	76	79.5	50.0	76.0	79/80	43/43	
第108回 平成26年	第10期生 101名	99	22	121	89	16	105	89.9	72.7	86.8	73/80	42/43	
第109回 平成27年	第11期生 100名	100	19	119	94	8	102	94.0	42.1	85.7	76/80	42/43	
第110回 平成28年	第12期生 109名	109	15	124	102	7	109	93.6	46.7	87.9	71/80	40/43	
第111回 平成29年	第13期生 115名	114	15	129	107	10	117	93.9	66.7	90.7	36/80	23/43	
第112回 平成30年	第14期生 104名	104	13	117	99	7	106	95.2	53.8	90.6	49/80	25/43	
第113回 平成31年	第15期生 112名	112	10	122	105	6	111	93.8	60.0	91.0	40/80	19/43	
第114回 令和2年	第16期生 102名	101	11	112	96	6	102	95.0	54.5	91.1	63/80	33/43	
第115回 令和3年	第17期生 125名	125	10	135	118	4	122	94.4	40.0	90.4	57/80	32/43	
第116回 令和4年	第18期生 109名	109	14	123	102	5	107	93.6	35.7	87.0	77/81	42/43	
合計	3,822名	3,812	428	4,240	3,551	247	3,798	—	—	—	—	—	

〔第116回〕全 国：91.7%（前年：91.4%）
 医師 うち新卒：95.0%（前年：94.4%）
 合格率

《事務局からのお知らせ》

会費納入のお願い

同窓会会費は終身会費で5万円です。未納の方は下記口座への納入をお願いします。

【郵便局からのお振込み】

口座番号:01680-2-130874 高知大学医学部医学科同窓会

【他銀行からのお振込み】

店名 : 一六九店 預金種目 : 当座

口座番号 : 0130874 高知大学医学部医学科同窓会

医師賠償保険団体加入のお知らせ

医学科同窓会で勤務医師賠償責任保険を団体扱いで損保ジャパンと契約しています。
詳細につきましては、下記取扱代理店までご連絡ください。

【取扱代理店】 はらだ保険企画 〒780-0063 高知市昭和町10番5号

TEL : 088-823-7152 携帯 : 090-4780-6362

E-mail : harada_hokenkikaku@yahoo.co.jp

同窓会事務局連絡先

高知大学医学部医学科同窓会

事務担当 明神 一夫 TEL : 088-866-0034

FAX : 088-866-0065

メール : dosokaij@kochi-u.ac.jp

送付先：高知大学医学部医学科同窓会事務局 行

FAX：088-866-0065

メール：dosokaij@kochi-u.ac.jp

【総会 出欠表】

総会：ご出席(会場)、ご欠席

御氏名 _____ 会員番号 _____ S・H _____ 年卒業

メールアドレス： _____

【勤務先や自宅などが変更となった場合は、本用紙でご連絡をお願いいたします。】

ご氏名	_____
	_____ 会員番号 _____ S・H _____ 年卒業
勤務先名	_____
勤務先住所	〒 _____ TEL _____
自宅住所	〒 _____ TEL _____
その他連絡先 (実家など)	〒 _____ TEL _____
メールアドレス	_____
【ご意見等】	